

Microsoft Office

はじめに

本ガイドではマイクロソフト ボリューム ライセンスのお客様向けに、各種マイクロソフト ボリューム ライセンス プログラムを通じて最新の Microsoft Office スイートのライセンスを取得する方法について説明します。

また、本ガイドは情報提供を目的としており、Microsoft Office のライセンス取得に関していずれかのドキュメントより優先されるものでも、他のドキュメントと置き換わるものでもありません。製品ごとの具体的なライセンス条項については、該当製品のリテール ソフトウェア ライセンス条項のほか、その製品の取得に使用したマイクロソフト ボリューム ライセンス契約やマイクロソフトの[製品条項](#)を参照してください。

本ガイドの最新版などの詳細については、Microsoft Office のライセンスの説明ページ (<https://www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/product-licensing/office.aspx>) をご覧ください。

目次

| | |
|------------------------------------------------------------|----|
| 概要 | 2 |
| Microsoft Office 製品の概要 | 2 |
| マイクロソフト ボリューム ライセンス プログラムによる Microsoft Office の購入 | 2 |
| 最新の Microsoft Office を入手できるボリューム ライセンス プログラム..... | 3 |
| ステップアップ ライセンス | 4 |
| マイクロソフト ソフトウェア アシュアランスによる移行..... | 4 |
| Office スイートの Microsoft Office Online | 5 |
| Office Online Server のライセンスの取得 | 5 |
| Microsoft Office Home and Student 2013 RT の商用ライセンスの取得..... | 5 |
| Windows To Go で使用する Office ライセンスの取得 | 6 |
| Office とサーバーの連携機能の強化 | 6 |
| ボリューム ライセンス プログラムを通じた提供形式..... | 7 |
| ソフトウェア アシュアランスの特典 | 8 |
| OEM Office ライセンスのソフトウェア アシュアランスへの加入 | 9 |
| ボリューム ライセンス認証 | 9 |
| キー管理サービスおよびマルチ ライセンス認証キーによるライセンス認証 | 9 |
| よく寄せられる主な質問 | 10 |
| 詳細情報..... | 11 |

概要

この『Microsoft Office ボリューム ライセンス リファレンス ガイド』では、Office スイートのコア製品群、ライセンスモデル、マイクロソフト ソフトウェア アシユアランスによる移行の概要を説明します。

Microsoft Office 製品の概要

Microsoft Office は、多くの人々が使用している Office アプリケーションや電子メール、予定表、HD ビデオ会議機能を備え、最新のドキュメントへのアクセスをサポートします*。より柔軟な製品提供を通じてお客様の固有のニーズに対応できるよう、マイクロソフトは多種多様な Microsoft Office スイートを用意しています。

ボリューム ライセンス プログラムで購入できる最新リリースの Microsoft Office スイートは次のとおりです。

- Microsoft Office Standard 2019
- Microsoft Office Professional Plus 2019

また、小売店や OEM (Original Equipment Manufacturer) 経由で購入できる Microsoft Office スイートには次のものがあります。

- Microsoft Office Home and Student 2019
- Microsoft Office Home and Business 2019
- Microsoft Office Professional 2019

小売店およびリセラーのお客様が、Office のメディアがプリロードされた新しい PC を入手した場合は、Office プロダクト キー カードを通じて Office スイートのライセンスを購入し、ライセンスの認証を行えます。プロダクト キー カードには、Office Home and Student 2019 用、Office Home and Business 2019 用、Office Professional 2019 用の 3 種類があります。

マイクロソフト ボリューム ライセンス プログラムによる Microsoft Office の購入

マイクロソフト ボリューム ライセンスのお客様には、Office の各製品に加え、革新的な新機能である統合された Microsoft Office Web App 機能が提供され、Office でさらに大きなビジネス価値を実現できます。また、ソフトウェア アシユアランスを購入することで、新しい Office への効率的な移行が可能になります。さらに、トレーニング、導入計画、テクニカル サポートといった特典を活用すれば、ソフトウェアからこれまで以上に大きな価値を引き出すことができます。

*適切なデバイス、インターネット接続、サポート対象のインターネット ブラウザー (Windows Internet Explorer、Firefox、Chrome、Safari) が必要です。一部のデバイスまたは機能のご利用には、別途ライセンスの購入が必要になる場合があります。

最新の Microsoft Office を入手できるボリューム ライセンス プログラム

Microsoft Office スイートはあらゆるデバイスにわたって企業の生産性向上を後押しします。ボリューム ライセンス プログラムを通じて Microsoft Office を購入すれば、新たな方法でのコラボレーションが可能となり、柔軟なワークスタイルへの対応が容易になります。

ボリューム ライセンス プログラムで購入可能な Office スイートには、それぞれ次の機能が含まれています。

| | Office Professional Plus 2019 | Office Standard 2019 |
|-------------------------------------------------|-------------------------------|----------------------|
| Microsoft Word | ✓ | ✓ |
| Microsoft Excel – 表計算ソフトウェア | ✓ | ✓ |
| Microsoft PowerPoint – プレゼンテーション グラフィックス プログラム | ✓ | ✓ |
| Microsoft Outlook – メッセージング/コラボレーション クライアント | ✓ | ✓ |
| Microsoft OneNote – メモ作成プログラム | ✓ | ✓ |
| Microsoft Publisher | ✓ | ✓ |
| Office Online Server* | ✓ | ✓ |
| Office Home and Student 2013 RT の商用利用権 | ✓ | ✓ |
| Office Multi-Language Pack および校正ツール | ✓ | ✓ |
| エンタープライズ サーバー連携機能 | ✓ | |
| Microsoft Skype for Business – コミュニケーション ソフトウェア | ✓ | |
| Microsoft Access – データベース ソフトウェア | ✓ | |

*作成/編集/保存の権限にはソフトウェア アシユアランスが必要

ボリューム ライセンス プログラムで入手した Office ライセンスには、ライセンスの割当先デバイスのプライマリ ユーザーに対する Office Online Server の使用権のほか、Office Home and Student 2013 RT の商用利用権が必ず含まれます。前述の機能およびオンラインのコンパニオン アプリケーションを使用すると、自身の個人情報の管理を強化し、ドキュメントの共同作成やプロジェクトでの協力を促進できます。

ボリューム ライセンス プログラムによって取得した Microsoft Office 2019 のライセンスには、Office Multi-Language Pack と校正ツールが含まれています。こうしたコンポーネントの使用権は、ソフトウェア アシユアランスには含まれなくなりました。前述のソフトウェア コンパニオンを利用すると、Microsoft Office アプリケーションの追加ディスプレイやヘルプ、校正ツールをさまざまな言語で追加できます。旧バージョンの Microsoft Office を使用していて、ソフトウェア アシユアランスが有効な場合は、ソフトウェア アシユアランスの保障範囲の一部として、この権利が引き続き提供されます。

Office Professional Plus 2019 は、個人とチームの両方の生産性を高める総合的なツールセットを提供し、ユーザーと主要ビジネス プロセスとの結び付きを促進します。エンタープライズ サーバー連携機能の強化により、Microsoft SharePoint Server 2019、Microsoft Exchange Server 2019、Microsoft Skype for Business Server 2019 などの Microsoft Business Productivity サーバー ソリューションとの連携が標準サポートされ、企業内および企業の境界を越えたコラボレーション、コンテンツ管理の効率化、日常業務プロセスの合理化のための新たな機会をもたらします。Office Professional Plus は次のような場合に適しています。

- 保護を要する知的財産がある
- フォームを作成する必要がある
- 組織内のコンテンツ フローとアクセスを管理したい
- 離れた場所にいる複数のチームが協力してプロジェクトを進める必要がある
- メモなどの情報を収集し、集中管理する必要がある

Office Standard 2019 は、見栄えの良いドキュメントやスプレッドシート、プレゼンテーションをすばやく簡単に作成するツールや電子メールを管理するツールなど、ユーザーの生産性を高める包括的なツールセットを提供します。Office Standard 2019 は次のような場合に適しています。

- ドキュメントの作成、ファイナンス/インベントリの追跡、ビジネス インサイトを得るためのデータ分析、プレゼンテーションやマーケティング/販促資料の作成を行うための基本的なデスクトップ スイートを求めている
- 組織内外の相手とやり取りし、取引先担当者の情報を追跡する必要がある
- 仕事に役立つ手頃な価格のデスクトップ スイートを探している

ステップアップ ライセンス

Office のソフトウェア アシユアランスが有効な場合は、ステップアップ ライセンスを取得することで、Office Standard 2019 から Office Professional Plus 2019 にアップグレードできます。ステップアップ ライセンスの詳細については、[ボリューム ライセンス簡易ガイド](#)を参照してください。

マイクロソフト ソフトウェア アシユアランスによる移行

ボリューム ライセンス プログラムを通じて Office Professional Plus 2016 を購入した場合、Office が利用可能となった時点でソフトウェア アシユアランスの保障が有効であれば、Office Professional Plus 2019 の使用権を得られます。Office Standard 2016 を購入した場合、Office が利用可能となった時点でソフトウェア アシユアランスの保障が有効であれば、Office Standard 2019 の使用権を得られます。



ソフトウェア アシユアランスによる移行パス

Office スイートの Microsoft Office Online

Office Online には、Word Web App、Excel Web App、PowerPoint Web App、OneNote Web App が含まれます。Office Online は Office 2019 に置き換わるものではなく、ブラウザーを介してどこからでもアクセス、共有、コラボレーションできるよう、マイクロソフトの一般的な仕事効率化ツールを Web に拡張したものです*。オフィスワーカーのための最も総合的なソリューションが、Office Professional Plus およびバックエンドの Business Productivity サーバー ソリューションであることに変わりはありません。Office 2019 と Office Online を併用すると、デスクトップ アプリケーションならではの優れた仕事効率化エクスペリエンスと、Web の特長であるコラボレーションの容易さを融合させ、PC、モバイル デバイス、ブラウザーのすべてを通じて、Office による生産性向上を拡大できます。Office 2019 クライアント アプリケーションが文書の作成、デザイン、分析のツールを幅広く提供する一方、Office Online では、リッチ クライアントで作成されたほとんどのコンテンツにアクセスして参照でき、Office を利用できない相手との共有やコラボレーションを可能にします。

Office Online Server のライセンスの取得

Microsoft Office Online Server は、Office Online ドキュメントの参照専用のアクセス権をあらゆるユーザーに提供します*。Office Online Server を使用してドキュメントを編集するには、ボリューム ライセンス プログラムによって取得したソフトウェア アシユアランス付きの Office スイート ライセンスが必要です。そうした Office ライセンスを割り当てたデバイスのプライマリ ユーザー** だけが唯一、Office Online アプリケーションを使用し、任意のデバイス (Office ライセンスを割り当てられていないデバイスを含む) からドキュメントの編集を行えます。外部ユーザー*** が Office Online ドキュメントを参照または編集するために、Office スイートのライセンスは必要ありません。

*適切なデバイス、インターネット接続、サポート対象のブラウザー (Edge、Internet Explorer、Firefox、Chrome、Safari) が必要です。一部のデバイスまたは機能のご利用には、別途ライセンスの購入が必要になる場合があります。

**プライマリ ユーザーとは、ライセンスを割り当てたデバイスの使用時間が、90 日の期間で 50% を超えているユーザーです。

***外部ユーザーとは、自社または関連会社の社員、自社または関連会社のオンサイトの契約社員、オンサイトのエージェントのいずれにも該当しないユーザーを指します。

Microsoft Office Home and Student 2013 RT の商用ライセンスの取得

Microsoft Office は使用するデバイスにかかわらず、常に最良の Office エクスペリエンスを提供します。Windows RT オペレーティング システム、Surface ソフトウェア、タッチ コンピューティング プラットフォームを搭載したタブレット端末には、非営利目的で使用可能な Office Home and Student 2013 RT ソフトウェアがプレインストールされています。

Office Professional Plus 2019 ライセンスまたは Office Standard 2019 ライセンスを割り当てたデバイスのプライマリ ユーザーは、Office Home and Student 2013 RT を営利目的で使用できます。デバイスに Office for Mac Standard 2019 ライセンスが割り当てられている場合も、Office Home and Student 2013 RT の商用利用権がプライマリ ユーザーに提供されます。この特典の利用に、Office の有効なソフトウェア アシユアランスは必要ありません。マイクロソフトの Open License プログラムまたは Select Plus* プログラムによって、Office Home and Student 2013 RT の商用利用権について、永続ライセンスをデバイス単位で購入することもできます。Windows RT タブレットまたは Surface タブレットを使用し、データセンターでリモート実行される Office Professional Plus 2019 ソフトウェアまたは Office Standard 2019 ソフトウェアにアクセスする場合は、対応する Office スイート用のライセンスを、使用する Windows RT/Surface デバイスに個別に割り当てる必要があります。

Windows To Go で使用する Office ライセンスの取得

Windows To Go を使用すると、Windows 10 および最新の Microsoft Office ソフトウェアを組織内の任意のデバイスで利用できます。作業デバイスに次のライセンスを割り当てると、Office を USB ドライブにインストールし、Windows To Go と共に使用できます。

- Windows 用のソフトウェア アシユアランスが有効な Windows 10 ライセンスまたは Windows Virtual Desktop Access サブスクリプション ライセンス、および
- Office Professional Plus 2019 または Office Standard 2019

その結果、ユーザーは自社の構内にいる間、ライセンスを割り当てた任意の作業デバイス上で USB ドライブを使用して Office を実行できます。また、Office スイート ライセンスのソフトウェア アシユアランスが有効であれば、ライセンス割り当て済みデバイスのプライマリ ユーザーは Office のローミング使用権の特典を利用し、職場外のデバイスでも USB ドライブから Office を実行できます。

Office とサーバーの連携機能の強化

最新バージョンの Microsoft Office では、使い慣れた Office ユーザー インターフェイスをサーバー機能によってさらに使いやすくし、接続やコミュニケーション、コラボレーション、業務の効率化を促進できます。

Office Professional Plus 2019 はエンタープライズ機能を備えているため、高度なユーザー エクスペリエンスの提供が可能です。一方、Office Standard 2016 ユーザーはそうした機能にアクセスすることはできませんが、多くの場合は限定的にしか利用できません。たとえば、Standard エディションのユーザーは、Web ブラウザー インターフェイスを介して SharePoint ライブラリを操作できます。多くのケースでは、プロセスを開始したり、ポリシーを適用したりするのに Office Professional Plus 2016 が必要になります。ただし、最新バージョンの Office のどちらのスイートを使用しているかに関係なく、すべてのユーザーがプロセスに参加し、コンテンツを使用できます。

次に、最新の Office スイートで提供される高度なサーバー連携機能の概要を示します。

| 機能 | 説明 | Office Standard 2019 | Office Professional Plus 2019 |
|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-------------------------------|
| Information Rights Management (IRM) 機能/ポリシー機能 | Windows Server オペレーティング システムの Windows Rights Management Services (RMS) との連携により、デジタル情報の不正利用への保護を強化します。 | 限定的 ¹ | ☑ |

| | | | |
|-----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|---|
| ビジネス ネットワークとソーシャル ネットワークへのコンテキスト対応のアクセス | Outlook から直接、人を中心とした社内情報を入手します。また人気のあるソーシャル ネットワーク サイトに接続して顧客、見込み客、パートナーのニュースを収集できます。 | 限定的 ² | ☑ |
| Enterprise Content Management (ECM) の連携 | SharePoint 2013 との連携により、ドキュメント ワークフローの統合やドキュメントのメタデータを自動で取り込むスマートなテンプレートを通じて、ビジネス情報へのアクセスのセキュリティを強化します。 | 限定的 ³ | ☑ |
| データ インサイトの発行 | SharePoint 2019 を通じて高品質なワークシートを Web に発行し、Excel Services と Access Services を使用して Web データベースを作成できます。 | 限定的 ⁴ | ☑ |
| インスタント メッセージ、プレゼンス、音声 コミュニケーション | 使い慣れた Office ツールを使用し、別の場所にいる相手やタイムゾーンが異なる相手と簡単にやり取りができ、Skype for Business および Skype for Business Server との連携をサポートします。 | 限定的 ⁵ | ☑ |
| メール フォルダーとアイテム 保持ポリシーの管理 | アクセス可能なドキュメントの作成から電子メールの保持まで、組織の持つコンプライアンスの維持能力を高めるさまざまなツールや機能を使用できます。 | | ☑ |

¹適切な権限が付与されていれば、Office Standard のユーザーでも IRM コンテンツにアクセスできますが、ドキュメントの保護設定を行うには Office Professional Plus が必要です。

²SharePoint との連携には、Office Professional Plus が必要です。ソフトウェア開発キット (SDK) を使用すれば Office Standard スイートからも接続できます。

³Office アプリケーションやその他の ECM 関連タスクからワークフローを開始するには、Office Professional Plus が必要です。

⁴Office Standard ユーザーはコンテンツを参照できますが、コンテンツの作成と Web への発行には Office Professional Plus が必要です。

⁵Skype for Business Server を連携してプレゼンスを公開し、Office アプリケーション内から会話を始めるには、Office Professional Plus が必要です。

ボリューム ライセンス プログラムを通じた提供形式

最新の Microsoft Office スイートの提供形式は、ボリューム ライセンス プログラムごとに異なります。Office に関して、Office Professional Plus 2019 は、Microsoft Enterprise Agreement、Microsoft Enterprise Subscription Agreement、Microsoft Open Value (OV)、Microsoft Open Value Subscription (OVS)、マイクロソフト教育ソリューション加入契約 (EES) の各ボリューム ライセンス プログラムでプラットフォームとして提供されます。Office Professional Plus 2019 は、クラウド ソリューション プロバイダー (CSP)、マイクロソフト製品/サービス契約 (MPSA)、Microsoft Select Plus*、Open の各プログラムでも提供されます。Office Standard 2016 は Select Plus* と Microsoft Open License で提供されるほか、Open Value プログラムの非全社レベルのオプションとしても提供されます。

| | Office Professional Plus 2019 | Office Standard 2019 |
|----------------------|-------------------------------|----------------------|
| Open Value | ☑** | ☑*** |
| Open Value サブスクリプション | ☑** | ☑*** |
| Open License | ☑ | ☑ |
| Select Plus* | ☑* | ☑* |
| クラウド ソリューション プロバイダー | ☑ | ☑ |

| | | |
|-----------------------------------|-----|---|
| マイクロソフト製品/サービス契約 (MPSA) | ☑ | ☑ |
| Enterprise Agreement | ☑** | |
| Enterprise Subscription Agreement | ☑** | |
| 教育ソリューション加入契約 (2017 年より前) | ☑** | |

*2016 年 7 月 1 日以降、MPSA が提供されている市場では、次回の契約応当日から、既存の営利企業向け Select Plus 契約を通じて新規注文やソフトウェア アシユアランスの更新を行うことができなくなります。Select Plus の販売終了は、政府機関および教育機関向けの Select Plus 契約には適用されません。詳細については <https://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/licensing-programs/select.aspx#tab=4> を参照してください。

**プラットフォーム / 全社レベルで提供

***非全社レベルで提供

Office Professional Plus 2019 はプラットフォームとして提供され、Enterprise Agreement、Enterprise Subscription Agreement、EES の各プログラムを通じて、Professional Desktop Platform と Enterprise Desktop Platform の両方で購入できます。

Office Professional Plus 2019 はプラットフォームとして提供され、OV および OVS の各プログラムを通じて、Small Business Desktop Platform と Professional Desktop Platform の両方で購入できます。

ソフトウェア アシユアランス特典

マイクロソフト ボリューム ライセンス プログラムのお客様が有効なソフトウェア アシユアランスで保障されている場合、ソフトウェア アシユアランスに含まれるソフトウェアのバージョンアップ権や、導入および生産性向上のための特典を活用することで、ボリューム ライセンス契約を通じてさらなる生産性の向上を実現できます。

Office ライセンスのソフトウェア アシユアランスが有効な場合、次のアップグレードを行えます。

- Office Professional Plus 2016 から Office Professional Plus 2019 へのアップグレード
- Office Standard 2016 から Office Standard 2019 へのアップグレード

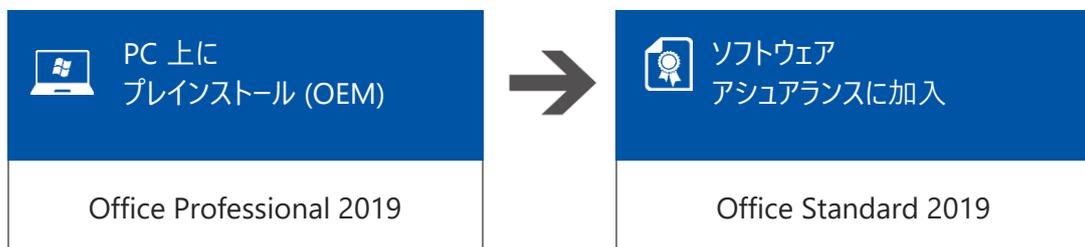
次のようなソフトウェア アシユアランス特典も利用できます。

- **計画サービス:** デスクトップ (Office や Windows)、SharePoint、Exchange を対象としてマイクロソフト パートナーが体系的計画サービスを提供し、ソフトウェアの実装の効率化を支援します。
- **最新バージョンのソフトウェア:** ソフトウェア アシユアランスの対象となっているライセンスはすべて、最新バージョンが利用可能になった時点でアップグレードできます。
- **自宅使用プログラム (HUP):** コストを抑えた自宅使用ライセンスにより、自宅で会社と同じソフトウェアを使用するユーザーの効率性を向上させます。
- **E ラーニング:** 新バージョンのソフトウェアを使用するための準備を支援します。マイクロソフトの専門家が開発した対話型のオンライン トレーニングを各自のペースで利用できます。
- **トレーニング バウチャー:** IT スタッフが最新の技術を学ぶ講習会に参加できます。
- **Office ローミング使用权:** ライセンスを割り当てた作業デバイスのプライマリ ユーザーは、ネットワーク サーバー上やサードパーティ製デバイスの USB ドライブ上に導入された Office スイートにアクセスできます。Office ローミング使用权は、お客様の会社または関連会社の施設外での使用にのみ適用されます。

OEM Office ライセンスのソフトウェア アシユアランスへの加入

OEM から特定の Office ライセンスを入手した場合、その OEM ライセンスの入手日から 90 日以内であれば、Open License、Open Value、Select Plus* のいずれかのプログラムを通してソフトウェア アシユアランス契約を結ぶことができます (これは、Open Value の全社契約オプションには適用されません)。

OEM 版 Office に対するソフトウェア アシユアランスを購入すると、ボリューム ライセンス プログラムで提供される最新の Office ソフトウェアと同等のエディションに "ステップイン" する資格が得られます。これには、ボリューム ライセンス エディションに含まれるすべてのアプリケーションが含まれます。次に、ソフトウェア アシユアランスを購入した場合の OEM バージョンの Office とボリューム ライセンス バージョンの Office の対応状況を示します。



OEM ライセンスのソフトウェア アシユアランスを締結する場合の移行パス

メモ: OEM 版の Office Professional 2019 は、ボリューム ライセンス版の Office Professional Plus 2019 ではなく、Office Standard 2019 に対応します。これは、Office Professional Plus 2019 には、OEM 版の Office Professional 2019 にはない複数のコンポーネント (Skype for Business 2016 やエンタープライズ サーバー連携機能など) が含まれているためです。

OEM ライセンスをマイクロソフト ボリューム ライセンス プログラムおよびソフトウェア アシユアランスに組み入れると、Office Standard 2016 を Office Professional Plus 2019 にアップグレードするためのステップアップ ライセンスの購入資格が得られます。

ボリューム ライセンス認証

製品のライセンス認証には、手持ちのソフトウェアにきちんとライセンスが割り当てられているかどうかを確かめる目的があります。最新の Office スイートではすべて製品のライセンス認証が必要です。

ボリューム ライセンス認証を使用すると、規模の大きな企業のライセンス認証プロセスを自動化し、ユーザーに影響を与えずに認証処理を行えます。ボリューム ライセンス認証は、ボリューム ライセンス プログラムの適用対象となるコンピューターと、ボリューム ライセンスの専用メディアをお使いのお客様に提供される機能です。ライセンス認証のツールとしてのみ使用され、ライセンスの請求処理や課金処理には関係しません。

キー管理サービスおよびマルチ ライセンス認証キーによるライセンス認証

キー管理サービス (KMS) を使用すると、社内でホストする認証サービスを通じてコンピューターのライセンス認証を行えます。また、マルチ ライセンス認証キー (MAK) では、マイクロソフトがホストするライセンス認証サービスを使用し、1 回のみ有効なコンピューターのライセンス認証を実行できます。環境内のコンピューターのライセンス認証には、いずれか一方のキー認証を使用することも、両方のキー認証を使用することも可能です。

最新バージョンの Office に関して、KMS と MAK によるライセンス認証プロセスは Office 2013 の場合と基本的に同じです。ただし、Office の新しい KMS ホストは Windows Server 2003 ではサポートされません。代わりに、こ

の Office の KMS ホストは、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 に加え、Windows 7/8/8.1/10 のボリューム ライセンス エディションでサポートされます。

最新バージョンの Office のボリューム ライセンス認証の詳細は [TechNet](#) を参照してください。

よく寄せられる主な質問

Office Online Server を利用するためのライセンスの取得方法を教えてください。

Office Professional Plus 2019 ライセンスまたは Office Standard 2019 ライセンスを購入すると Office Online Server が含まれています。Office Online Server Office では、Office ファイルの参照と編集が行えます。

Office Online Server は、Office ライセンスとソフトウェア アシユアランスのどちらに含まれていますか。

Office Online Server は Office Standard 2019 または Office Professional Plus 2019 のライセンスに含まれています。

Office Professional Plus 2019 または Office Standard 2019 を通じてライセンスを取得した場合、Office Online Server 2019 のライセンスはデバイス単位とユーザー単位のどちらで提供されますか。

Office クライアントスイートのライセンスはデバイス単位で提供されます。この Office ソフトウェアのライセンスをデバイスに割り当てると、デバイスのプライマリ ユーザーに対してオンラインのコンパニオンへのアクセス権が付与され、任意のデバイスから Office Online Apps にアクセスできるようになります。この場合は、プライマリ ユーザーによる Office Online Apps 経由でのリモート オンライン アクセスが可能になります。

ライセンスを割り当てられた従業員と共同で作業する外部ユーザーには、どのようなライセンスが必要ですか。

外部ユーザー*** が Office Online Apps ドキュメントにアクセスして参照または編集する場合、新しい Office スイートのライセンスは必要ありません。外部ユーザーとは、自社または関連会社の社員、自社または関連会社のオンサイトの契約社員、オンサイトのエージェントのいずれにも該当しないユーザーを指します。

Office Online ドキュメントを参照するだけの従業員に、Office Professional Plus 2019 または Office Standard 2019 のライセンスは必要ですか。

いいえ。Office スイートのライセンスが必要なのは、Office Online ドキュメントを編集する従業員のみです。

Office ライセンスの一部としてライセンスを付与される Office Online Apps には何が含まれますか。

Office Professional Plus 2019 および Office Standard 2019 によってライセンスを付与される Office Online Apps には、Word Web App、Excel Web App、PowerPoint Web App、OneNote Web App が含まれます。

Windows To Go の権利を使用して、Office Professional Plus 2019 または Office Standard 2019 の一式を USB ドライブ上にインストールできますか。

はい。Office Professional Plus 2019 または Office Standard 2019 の一式を USB ドライブ上にインストールし、ライセンスを割り当てた任意の作業デバイス上で Office を使用できます。対象の権利は、USB ドライブ上の Office 一式を自社の構内で使用する場合にのみ適用されます。なお、Windows To Go の諸権利を使用するには、Windows のソフトウェア アシユアランスが有効でなくてはなりません。

USB ドライブ上にインストールされた Office Professional Plus 2019 または Office Standard 2019 の一式を職場外で使用することはできますか。

Office スイート ライセンスのソフトウェア アシユアランスが有効である場合にのみ、Office Professional Plus 2019 または Office Standard 2019 がインストールされた USB ドライブを職場外で使用できます。

仕事用のタブレットで使うために、Office Home and Student 2013 RT のライセンスを取得するにはどうすればよいですか。

Office Professional Plus 2019 や Office Standard 2019 のライセンスには Office Home and Student 2013 RT の商用利用権が含まれており、ライセンスを割り当てたデバイスのプライマリ ユーザーが使用できます。デバイスに Office for Mac Standard 2019 ライセンスが割り当てられている場合も、Office Home and Student 2013 RT の商用利用権がプライマリ ユーザーに提供されます。この特典の利用に、Office の有効なソフトウェア アシユアランスは必要ありません。Office Home and Student 2013 RT を営利目的で使用するために、Open または Select Plus* ボリューム ライセンス契約を通じてデバイス単位の永続ライセンスをスタンドアロンで購入することもできます。

Windows RT タブレットまたは Surface タブレットを使用し、Office Professional Plus 2019 や Office Standard 2019 にリモートからアクセスするにはどのようなライセンスが必要ですか。

Office Professional Plus 2019 および Office Standard 2019 のライセンスはデバイス単位で提供されます。ネットワーク サーバー上で実行される Office Professional Plus 2019 や Office Standard 2019 には、ライセンスを割り当てたデバイスを使用し、リモートからアクセスするしかありません。そのため、使用する Windows RT タブレットまたは Surface タブレットには、この用途のデバイスに割り振る最新の Office スイート ライセンスを割り当てる必要があります。

詳細情報

- Microsoft Office のライセンス:
<https://www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/product-licensing/office.aspx>
- マイクロソフト ボリューム ライセンス:
<https://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/default.aspx>
- ボリューム ライセンス サービス センター (VLSC):
<http://www.microsoft.com/licensing/servicecenter/>
- Microsoft License Advisor:
<http://mla.microsoft.com/default.aspx?language=Japanese&country=JP>
- ボリューム ライセンス認証:
<https://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/existing-customer/product-activation.aspx>

© 2018 Microsoft Corporation. All rights reserved.

このドキュメントに記載された内容は情報の提供のみを目的としています。明示または黙示にかかわらず、この内容に関してマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。この情報はライセンスを受けた製品を正しくご使用いただくためのガイドであり、お客様との契約ではありません。ボリューム ライセンス契約に基づきライセンスを受けた製品の使用については、当該契約に定める契約条件に規定されます。この情報と契約の間に齟齬がある場合は、契約の条項が優先されます。マイクロソフトの代理店を通じて取得するライセンスの価格は、代理店によって決定されます。